

第 17 回経塚公園利活用連絡会（準備活動）開催結果について

1. 日時 2026 年 3 月 4 日（木） 19 : 00 ~ 21 : 00
2. 場所 浦添市役所 5 階 入札室
3. 参加者等 会場参加 : 18 名
浦添市、UR 都市機構 沖縄まちづくり支援事務所

第 17 回経塚公園利活用連絡会（準備活動）では、年間の連絡会及び社会実験イベントのふりかえりと、次年度に向けた公園利活用のアイデアの意見交換を行いました。

◆浦添市 美らまち推進課 平古場 祐樹 課長

<挨拶>

- ・本日は、今年度実施した社会実験イベントのふりかえりと、その際に行ったアンケート調査結果（公園利用者、及び主催者/出店者）をご紹介します。これらを参考にしながら、次年度に向けて改善を図ることができればと考えている。
- ・本市としても、来年度の社会実験では、現在公園で規制されている火気使用などの検証などを目的に、花火や BBQ などの実施に向けて支援をしていきたいと考えている。



◆浦添市 美らまち推進課 上地いくみ技師

<経塚公園の整備>

- ・平成 30 年度から令和 2 年度にかけて、地域住民や事業者等を対象とした市民協働部会での対話を通し、令和 3 年 7 月に今後の経塚公園の指針となる「経塚公園まちづくり計画」を策定し、そのなかで経塚公園の方向性を『地域の健康づくりや市民の健康増進に資する「ヘルシーパーク』』と決定。



<整備スケジュール>

- ・緑破線：Park-PFI 事業にて整備予定。
- ・青線：今年度は、浦添市は遊戯広場の遊具を整備予定である。



<P-PFI について>

- ・ P-PFI とは、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。
- ・ 事業予定者は、医療法人社団オレンジ。カフェ、ジム、集会場、トイレ、芝生広場、駐車場、散策路が事業予定者によって整備される。

<公園利活用連絡会について>

- ・ 公園利活用連絡会には、自治会、地域の方々、その他公園利用者など、様々な方が参加している。
- ・ 公園を使いたい方が自由に活動提案を行い、仲間の募集や活動の連携ができる、地域の皆さんとの共創を推進する場。アイデア段階のものなども発表いただくことができる。
- ・ 連絡会を円滑に進めるためのルールも設けている。(イベントガイドライン参照)

<イベント等での公園利用について>

- ・ 各種申請などは実施者が行う。
○イベントで公園を利用する際には、公園内行為許可申請書を公園指定管理者へ提出
○舞台等の工作物を設置する際は、公園占用許可申請書を美らまち推進課へ提出
- ・ 市都市公園条例第4条にて、10項目が公園で禁止されているが、管理者によって許可される場合がある。

<その他の手続・対応>

- ・ 煙が発生する、火気使用などの場合：浦添市消防本部予防課への申請
- ・ 飲食を伴う場合：南部保健所生活衛生班への申請 など

<今年度の公園利活用連絡会、社会実験イベントの予定>

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
①公園利活用連絡会	第15回 25(土) 開催	第16回 4(火) 開催				第17回 4(水) 開催			
②社会実験イベント			6(土)地域交流・ 防災イベント						
			27(土)保育園まつり						

R8.3.4時点

◆ふりかえり

(1) 今年度の公園利活用連絡会のふりかえり

・今年度の過去3回の連絡会概要。

連絡会	日時	人数	概要
第14回	2025年8月 14日(木) 19:00～ 21:00	18名	<ul style="list-style-type: none"> ●「地域防災」及び「保育園まつり」の提案 ●アイデア/意見(野外映画、健康アクティビティ、リサイクル、ペットふれあい、植物・ ●昆虫等保護、街歩き、外国人交流、アルツハイマーデーイベント、その他) ●地域のイベント(指定管理者等) ●イベント実施者へのミニレクチャー
第15回	10月25日 (土) 15:00～ 17:05	14名	<ul style="list-style-type: none"> ●「指定管理者イベント」+「地域防災」に関する意見交換 ●連絡会実施後、交流会
第16回	11月4日 (火) 19:00～ 21:00	7名	<ul style="list-style-type: none"> ●「保育園まつり」イベントに関する意見交換

- ・第14回連絡会では、公園の利活用に関するさまざまなアイデアが出された。
- ・第15回・第16回連絡会では、主催者からの協力要請に対し、連絡会やLINEグループを通じて多くの方が応援の手が上がり、地域からの協力体制が少しずつ強固になってきている。



(2) 社会実験イベントのふりかえり

- ・浦添市では、公園利活用のための主体者支援として社会実験イベントの支援をしている。
- ・公園は無償で利用でき、また公園利用にあたっての制限が条例によって定められているが、社会実験として浦添市が認める場合がある。数量限定で、机やいすの備品の無償貸出も可能。

【第 11 回社会実験イベント 12 月 6 日実施】

発表：ゆいまあるてだこパートナーズ 伊佐氏

イベント名：経塚パークフェスタ ちょうちかまちぐわ～

開催日時：2025 年 12 月 6 日（土）10:00～17:00

主 催：ゆいまあるてだこパートナーズ／湧水会

開催協力：浦添市、UR 都市機構、経塚公園あずまや
会、スポーツツーリズム沖縄、沖縄都市モ
ノレール、株式会社コトブキ、ナカショウ
株式会社、株式会社新産業文化創出研究所

協 賛：沖縄コカ・コーラボトリング、チェリオ沖
縄、安謝橋電機、あらかき商事、朝日株式会社

集 客：約 560 名

- ・未整備の経塚公園を、地域に開かれた場として活用し、地域住民や事業者が主体的に共同参画することを目的に実施。防災イベントと連携して実施することになった。
- ・ステージでは、ダンスやバンド演奏、防災の講和など。出店ブースでは、整体、アクセサリー作り、野菜販売、雑貨販売、桑商品の販売など。
- ・地域の歴史等紹介、公園未来像紹介などのほか、防災イベントとして、防災グッズの展示なども。
- ・宣伝方法は、チラシ配布、HP 掲載、SNS の活用、口コミ
- ・ステージは、予定より多くの要望があった。
- ・来客者数、滞在時間などから考えても、出店者にも一定の効果のあるイベントとなったと思われる。
- ・キッチンカーにも参加いただいて、にぎわいづくりとなった。
- ・今後も地域とともにこのような活動を行っていきたい。



【第 12 回社会実験イベント 12 月 27 日実施】

発表：事務局による代理

イベント名：KOUKI フェスティバル2

CANDLE NIGHT

開催日時：2025 年 12 月 27 日（日）15:00～18:00

主 催：社会福祉法人 光輝の歩 福祉会

（子むすびの森保育園・ゆめの森保育園・
宮城こども園）



開催協力：浦添市（事業受託先：新産業文化創出研究所）、UR 都市再生機構、ゆいまあ
るてだこパートナーズ、グリーンハイツ自治会、沖縄都市モノレール、ナカ
シヨウ株式会社、一般社団法人スポーツツーリズム沖縄

- ・ 経塚公園近隣の社会福祉法人である光輝の歩 福祉会が、保育園だけでなく地域にも開かれたイベントとして、昨年に引き続き、2回目の開催。
- ・ 昨年は真夏の炎天下での開催であったが、その経験から今年は12月に開催。
- ・ 当日は、保育園保護者、関係者、近隣の方の参加があり、ステージや様々なブース出展、キッチンカーなどの多くの出店があった。
- ・ 連絡会から派生して、地域の小学校PTAの連携としたフリマなども行われた。
- ・ 夜には、園児が作ったキャンドルがとまり、夜を照らした。

（3）社会実験イベントアンケートの結果

【第11回社会実験イベント 来場者アンケート結果概要】

発表者：美らまち推進課 玉城技師

- ・ 住まい地域ごとの来場者の実態把握のために、アンケート調査を実施。
- ・ 経塚、前田地域からは徒歩が多く、それ以外は公共交通機関の利用が多かった。今後は、公共交通機関を利用してもらう工夫が必要。
- ・ ファミリー層の年代参加が多かった。
- ・ 来場目的は「その他」が多かったが、次回以降は内容把握が必要。
- ・ 今後経塚公園で行いたいこととしては、「キッチンカー」を望む声が多かった。「その他」の把握が必要。
- ・ 市内の公園の避難場所への期待は大きかった。防災関連イベントは有効であり、今後も継続が望まれる。
- ・ イベントを知ったきっかけは市の広報が多く、継続して支援を行う。「その他」の把握が必要。
- ・ 連絡会への参加意欲も高かった。
- ・ 自由記述の中に、早く公園整備を望む声があった。整備を行っていく。



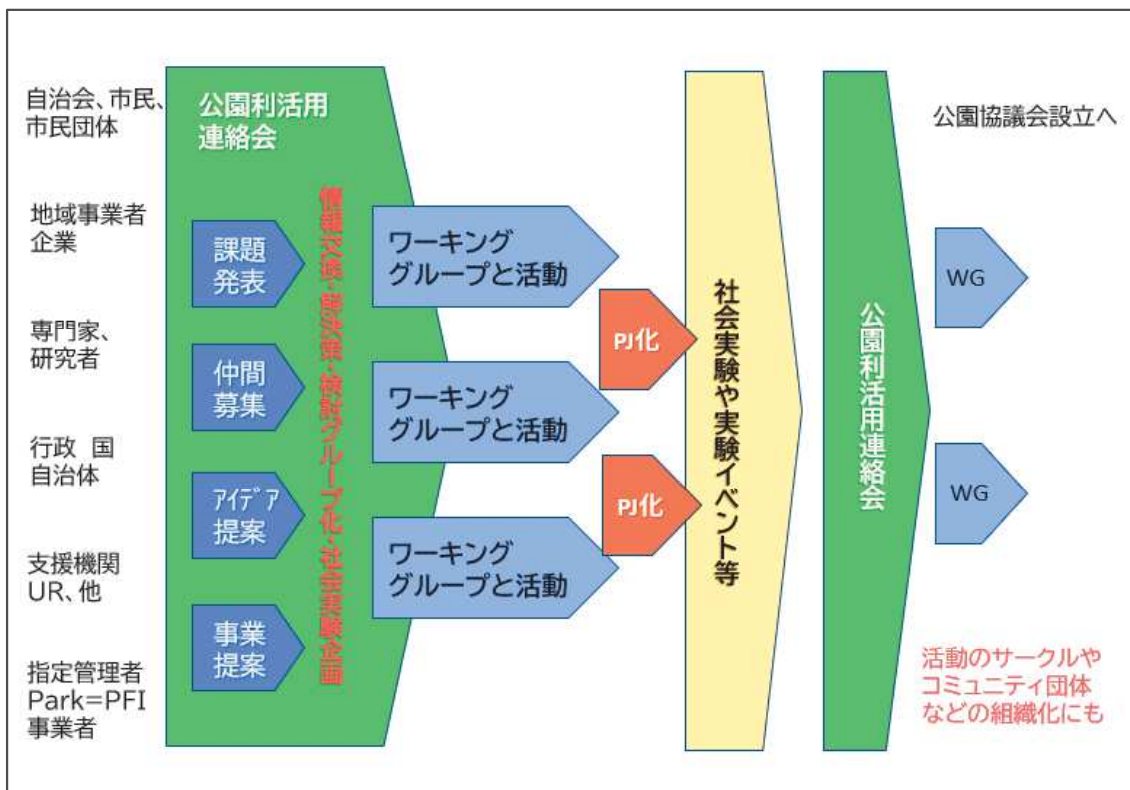
【第11回／第12回社会実験イベント 主催者／出店者アンケート結果概要】

- ・ 12月27日の社会実験イベントの回答率が低かったため正確な分析が行えないが、主催者／出店者の満足度は高かった。
- ・ 次回に向けて出店者の改善として、トイレの位置（女性利用への配慮）や音響の向き、日光に弱い商品（食品等）への出店場所への配慮などが挙げられた。
- ・ 出店者自らのイベント周知も行われ、地域共同主催としての意識の高まりが感じられるが、モチベーションの違う出店者へのよりよい模索、地域共同主催のイベント実施方法の模索などが必要である。
- ・ イベントとしてあると良い設備の主な意見：電気、水道、日陰、トイレ
- ・ あると良い支援の主な意見：告知協力、備品レンタル、駐車場、予算／物資等支援

・ P-PFI 事業者との意見交換や関与を求める声が、出店者同士の交流を深めたいなどの意見があった。

◆ 来年度に向けた社会実験等に関する意見交換

(1) 連絡会を活用した話し合いと社会実験に向けて



・ 浦添ではこれまで、「公民連携部会」と「市民協働部会」を開催してきた。「公民連携部会」には、P-PFI 事業者や社会実験などに関心のある民間事業者に集まっていた。一方、「市民協働部会」には、地域として協力したいという方々が集まっていた。

・ 連絡会は、民間事業者や市民に加え、上図の左に記載されているプレイヤーが共創する場となっている。地域課題の解決に向けたアイデアの共有や仲間募集、自治会メンバーの募集、サークルの仲間募集など、公園を中心にさまざまなグループをつくっていかうとしている。また、民間事業者からのアイデア提案や事業提案なども受け付けている。

・ 公園を活用する際には、火気の使用やアルコールの飲酒などに一定の制限がある。しかし、地域のニーズとして地域とともに実施し、要望が多ければ、ローカルルールづくりなども検討していくことができる。連絡会は、こうした内容について情報交換を行い、解決策をともに考える場としている。

・ 連絡会では、単発のイベントの企画も引き続き検討していくが、ワーキンググループで話し合われた内容をプロジェクト化し、社会実験として実施することも考えている。地域主体で実施することなどの課題に対する検証（収支、協力者や来場者の状況など）など、社会実験を通じて検討していく機会などもつくれば良いと思う。



- ・必ずしもイベントである必要はない。例えば、犬の譲渡会、動植物の自然観察会、防災チームなど、さまざまなワーキングチームをつくってあげればよいと考えている。参加者の皆さんには、将来的には共同で事業を行うなどの一助になればよいと思っている。それらをきっかけとして、地域のサークルの創出なども期待している。
- ・本日は、ひとつなぎ株式会社と環境省（やんばる国立公園）からご発表いただく。以下のような仮説を立てており、その意見交換も行いたい。

- ・経塚公園などの都市部の公園で、防災を兼ねてキャンプやアウトドア体験などを実施
- ・もしくは、昆虫や植物などの知識を高めていただく。
- ・自然豊かな国立公園側では、滞在が楽しくなるような様々なプログラムを検討しているので、都心部で体験したものを本格的にやんばる国立公園などで体験するなど、つなげることはできないか。そのために社会実験の内容、メンバーなどはどうしたら良いかを検討していく事はできないか。

- ・これは1つの仮説であるため、他の提案も歓迎である。

(2) ご発表：ひとつなぎ株式会社（アソビバワークス） 大城夕紀氏／富山 健吾氏

- ・同社はキャンピングカー部門と、アロマ部門（オーガニックアロマ専門店運営）の2つに分かれている。
- ・キャンピングカー事業に関しては、ハイエースなどを改造し、キャンピングカーとしている。
- ・現在、7割が国外のお客様である。県内の方にも使っていただきたいと考えている。
- ・経塚公園では、キャンピングカー展示やアウトドアのゲーム（チームビルディングなど）やキックボードなどを実施できる。
- ・アロマの虫よけスプレアのワークショップなども実施できる。
- ・（事前打ち合わせの共有）地域の公園でキャンピングカーや道具の使い方などの体験会ができればよい。ただし、現在、経塚公園はトイレが整備されていないので、「デイキャンプ」などしか実施できないと思われる。



【意見交換】

- ・「防災」をテーマに、グッズ展示販売、防災キャンプなどもできれば良いのでは。
 - ➡沖縄県キャンプ協会が関係しているので、防災キャンプなど、つなぐことができる。
- ・仕事で出た木くずやカンナくずの有効活用ができればうれしい。昨年イベントでは、コトブキさんのかまどスツールで木くずを燃料とした実験を行った。いずれはモノづくりなどの出店もしてみたい。



- ・本日は参加できなかったが、キャンピングカー製造しているオートキャンプ事業者が、災害時に出勤するが、平時の賑わいへの活用（駐車スペース）等も模索したいという話をいただいている。
- ・ジャズバンドを呼んだり、魚のパネル展示などができる。アートイベントなどができるが良い。
- ・大学で美術を教えており、公共の場を活用してアートなどを含めて様々な事を行っている。学生が研究の一環としてプレイスメイキングなども実施した。場所の使い方をソフト的に検討するのも良いと思う。
- ・子どものための活動を考えた方が良い。子どもが外で遊べなくなっている。
- ・通常は自団体の施設で国際交流的なイベント等実施しているが、照明、トイレ、水場などが確保できれば公園活用なども考えたい。

(3) ご発表：環境省沖縄奄美自然環境事務所 国立公園課 課長 山崎 麻里氏

- ・国立公園における滞在体験の魅力向上先端モデル事業として、やんばる国立公園も選定されており、世界自然遺産登録地域周辺における自然を活用した地域活性化を狙っている。
- ・やんばる3村(国頭村・大宜味村・東村)が一体となった滞在体験の魅力向上に向けて、連携して地域としての滞在体験の魅力向上を実現することを目指している。
- ・現在は、利用拠点の利活用計画を作っている。楽しんでもらえるような施設としたい。宿泊棟、ガイドウォーク、キャンプ場などもたくさんある。
- ・都市部でキャンピングカーやキャンプ体験をして、その後のステップとして、やんばるの方まであそびにきていただくなどの連携ができれば面白いと思う。



【意見交換】

- ・以前、桑の葉茶の事業者から、枝選定の活用の話があり、燻製などにも関心があるようだった。コーヒー協会の方も同様の関心があった。
- ・公園でパイパーズの管理の活動をしている。パイパーズの普及に努めている。
- ・8月は浦添市のボランティア月間。その中で、公園の中で子ども達が何かキャンプ関係のボランティア体験ができれば良い。
 - ➡経塚公園の周りの社会福祉施設の方が何か体験できれば良いかもしれない。
- ・毎月、フリーマーケットを実施している。これも公園で実施できれば良いと思った。
- ・現在はなくなってしまったが、ボーイスカウト誘致などもできれば良い。
- ・ペット防災なども注目されており、ドッグランなどもあってもよい。
- ・イベントの中で、やんばるに来ていただけるような仕掛けができればうれしい。
 - ➡「やんばるに行く会」などができるが良い



- ・公園というよりはイベント広場という要素が強いと思ったが、長期的な体制はどうか？
 - ➡今後、公園の方向性を決める組織として、公園協議会などを作る予定である。
 - ➡社会実験やワーキングなどを進めるのは、それぞれの自主性で進めていただく。
 - ➡本会は、現在は浦添市が事務局を担っているが、P-PFI 事業者を引き継がれる予定。
- ・歴史ある場所なので、歴史にまつわることをやると良い。
- ・プレーパークのようなものがあれば良い。関わる人によって、遊び場が変わるようなもの。焚火体験などもあるとよいのでは。
- ・コミュニティガーデンなどもあると良い。
 - ➡以前、市民農園の取り組みは行われた。
- ・全てを経塚公園の機能にいれるのではなく、公園などで分けても良い。浦添だけでなく、本日のようにやんばる国立公園など、ネットワークなどができれば、役割分担なども。
- ・整体の出店ができる。
- ・こどもと貧困家庭の支援を行っている。社協とつながって、様々なイベントを実施している。